

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-041706

(43)Date of publication of application : 13.02.1996

(51)Int. Cl.

A41D 1/00

A41D 1/04

A41D 13/00

A41F 9/00

F21L 11/00

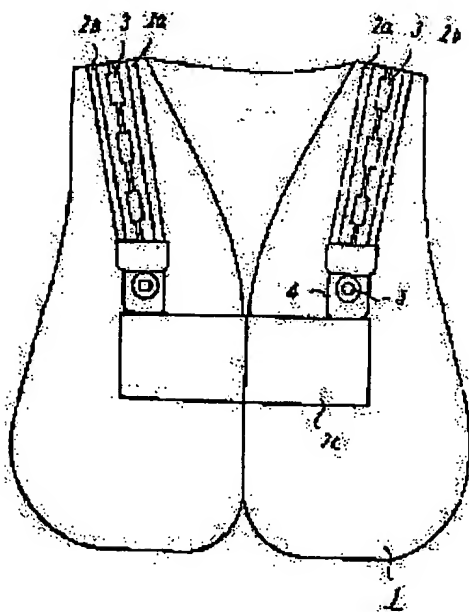
(21)Application number : 06-197833

(71)Applicant : KATASHIRO TOSHIKO

(22)Date of filing : 28.07.1994

(72)Inventor : KATASHIRO TOSHIKO

(54) SAFETY VEST AND BELT



(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a safety vest or a belt capable of sufficiently recognizing existence of a person even in darkness at night to ensure safety.

CONSTITUTION: Plane fluorescent bodies 2a, 2b and 2c capable of emitting light by reaction with light from the outside and a tape-like plane luminous body 3 capable of emitting light while turning on and off by converting electric energy into light energy are arranged onto the surface of a vest, etc.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.02.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 15.12.1998

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-41706

(43) 公開日 平成8年(1996)2月13日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 1 D 1/00	F			
1/04	D			
13/00	L			
A 4 1 F 9/00	V			
F 2 1 L 11/00	F			

審査請求 未請求 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平6-197833

(22) 出願日 平成6年(1994)7月28日

(71) 出願人 594124801

固城 年子

神戸市中央区御幸通6丁目1-15 御幸ビル

(72) 発明者 固城 年子

神戸市中央区御幸通6丁目1-15 御幸ビル

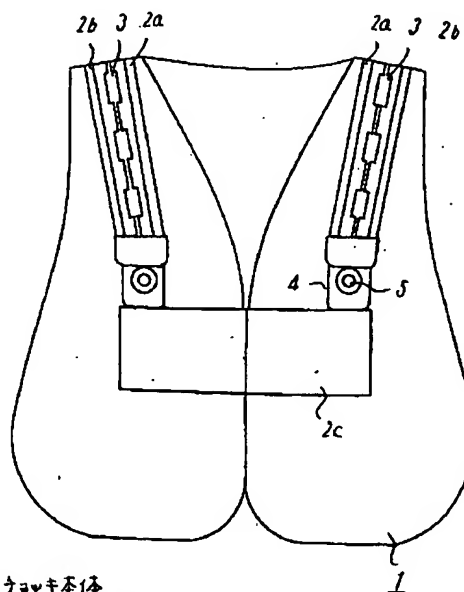
(74) 代理人 弁理士 村上 博 (外1名)

(54) 【発明の名称】 安全チョッキ及びベルト

(57) 【要約】

【目的】 夜間の暗闇の中でも充分人の存在を認識でき安全性を確保することを目的とする。

【構成】 チョッキの表面に、外部からのライトによって反応して発光する平面蛍光体と、電気エネルギーを光エネルギーに変換してそれ自体が点滅して発光するテープ状の平面発光体を配置したものである。



BEST AVAILABLE COPY

1: チョッキ本体
2a, 2b, 2c: 蛍光体
3: 平面発光体
4: ポケット
5: スイッチ

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 チョッキの表面に、外部からのライトによって反応して発光する平面蛍光体と、電気エネルギーを光エネルギーに変換してそれ自体が点滅して発光するテープ状の平面発光体を配置したことを特徴とする安全チョッキ。

【請求項2】 ベルトの表面に、外部からのライトによって反応して発光する平面蛍光体と、電気エネルギーを光エネルギーに変換してそれ自体が点滅して発光するテープ状の平面発光体を配置したことを特徴とする安全ベ

ルト。
【請求項3】 チョッキ又はベルトに設けたポケットに、上記平面発光体に接続されてその点滅を制御する押ボタンスイッチ付制御器とその電源電池を収納したことを特徴とする請求項1又は2記載の安全チョッキ及びベルト。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、夜間暗闇で仕事する作業者などが事故防止用に着用する安全チョッキ及び安全ベルトに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来のこの種の事故防止用の着用具として、蛍光体を一体に配置したものは周知である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記のような蛍光体だけでは、外部からライトが当たらないと反応して発光しないので、安全上充分とはいえない欠点があった。

【0004】 この発明は上記のような欠点を解消して、充分な安全性を確保することを目的としてなされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この発明に係る安全チョッキは、チョッキの表面に、外部からのライトによって反応して発光する平面蛍光体と、電気エネルギーを光エネルギーに変換してそれ自体が点滅して発光するテープ状の平面発光体を配置したものである。

【0006】 この発明に係る安全ベルトは、ベルトの表面に、外部からのライトによって反応して発光する平面蛍光体と、電気エネルギーを光エネルギーに変換してそれ自体が点滅して発光するテープ状の平面発光体を配置したものである。

【0007】

【作用】 この発明における安全チョッキ及びベルトに配置された平面発光体は、スイッチのONによりそれ自体が発光し、人の存在を明確に外部の人に認識させる役目を果たし、安全上極めて有効である。

【0008】

【実施例】

2

実施例1. 図1、図2はこの発明の実施例1を示す正面図と背面図である。図において、1はチョッキ本体、2a、2bはこのチョッキ本体1の正面から背面にわたって平行に2本帯状に配置され、外部の光を受光して発光する蛍光体、3はこれら蛍光体2a、2bの間に配置されそれ自体が点滅して発光する帯状の中間発光体（テープライト）であり、4はこの平面発光体3と接続された電源電池及び制御器（図示省略）を収納するポケットで、5は上記制御器に付設され上記ポケット5の外部へ露出して設けた押しボタン式スイッチである。なお図中2cも上記2a、2bと同様の蛍光体を示している。

【0009】 以上のように構成されたものにおいては、外部からの光、例えば正面や背面からの自動車の照明などに対しては蛍光体2a、2b、2cが反応して人の存在を認識されると同時に、周囲の状況或いは必要に応じてスイッチ5をONにすることで、平面発光体3自体を点滅させ、確実に人の存在をアピールさせ、安全性を充分確保できるものとなる。

【0010】 実施例2. 図3はこの発明の実施例2を示すもので、11はベルト本体であり、12a、12bはこのベルト本体11の長手方向の上下部両側に沿って配置した帯状の蛍光体（上記2aと同質のもの）、13はこの帯状蛍光体12a、12bの間に配置された平面発光体（上記3と同質のもの）、14はこの平面発光体13と接続された図示しない電源電池及び点滅制御器を収納するポケットである。なお15はベルトの止め具、16は小物入れポケットを示している。

【0011】 以上のような構成において、その動作については、上記安全チョッキの場合と同様であるので説明を省略する。また、本発明は靴など、他の体の着用具にも応用し得るものである。

【0012】 実施例3. なお実施例2のベルトに付加してタスキ掛け付きのベルトとすれば、一層外部から目立ち有効である。

【0013】

【発明の効果】 以上のようにこの発明によれば、外部からの光に反応する蛍光体と共に、自ら光を発する点滅平面発光体を配置したので、どのような状況および暗闇の中でも人の存在を明確にアピールすることができ、安全上極めて有効である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施例1に係るチョッキを示す正面図である。

【図2】 この発明の実施例1に係るチョッキを示す背面図である。

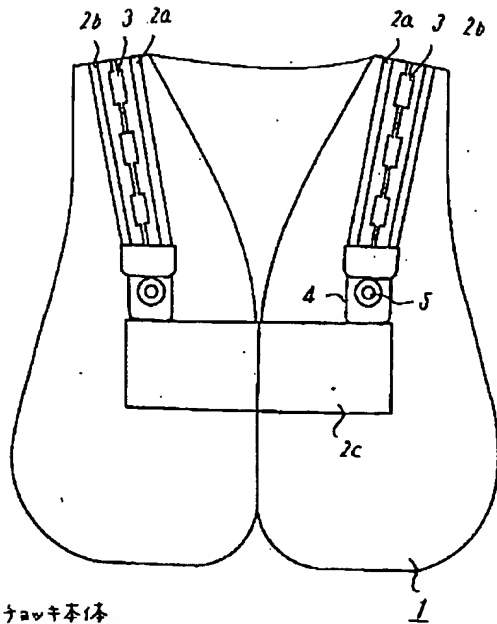
【図3】 この発明の実施例2に係るベルトを示す斜断面図である。

【符号の説明】

1 チョッキ本体、2a、2b、2c 蛍光体、3 平面発光体、4 ポケット、5 スイッチ、11 ベルト

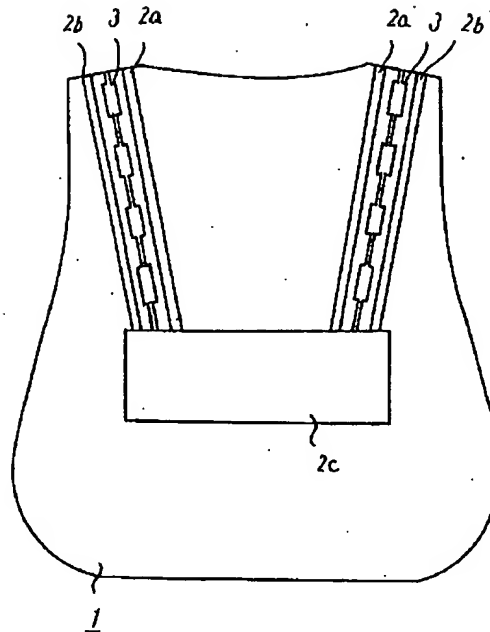
3
 本体、12a, 12b 蛍光体、13 平面発光体、1 4 ポケット。

【図1】

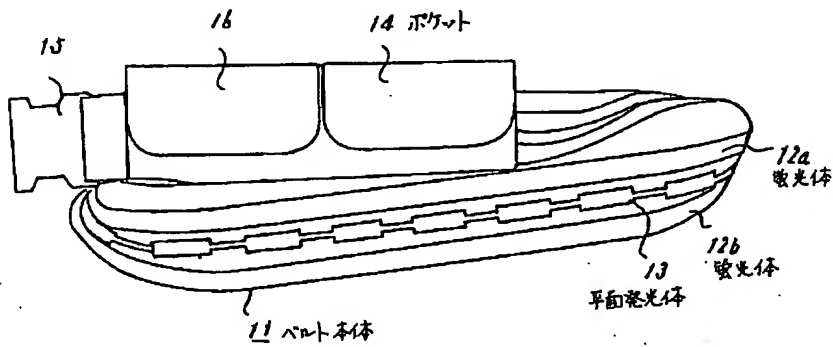


1: ハウジング本体
 2a, 2b, 2c: 蛍光体
 3: 平面発光体
 4: ポケット
 5: スイッチ

【図2】



【図3】



BEST AVAILABLE COPY